

「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業」

★事業の概要★

事業のねらい

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を養成する。

期 日

平成27年9月19日（土）～ 9月21日（月）

会 場

国立大雪青少年交流の家

対 象 者

国公立・財団等の青少年教育施設職員 青少年教育に係る指導員やリーダー等
都道府県・市町村の社会教育主事や社会教育担当職員
教職員や民間団体等で指導に携わる者やそれを目指す大学生等（18歳以上）

参加者数：参加募集人数

30名：30名

講 師

青木 康太郎 氏（北翔大学 准教授）
杉岡 品子 氏（北翔大学 准教授）
新野 和也 氏（NPO法人どんころ野外学校
ガイド・インストラクター）
濱谷 弘志 氏（北海道教育大学岩見沢校 准教授）
阿部 豊 （国立大雪青少年交流の家 所長）

日 程

			1230 1300	1400 14:15	15:45 1600	17:30 19:00	2200				
9/19 (土)			受付	開講式 ガイダンス	休憩	青少年教育における 体験活動	休憩	対象者理解	夕食	休憩	
7:15 7:30 9:00			1200 1300			1900 2000			21:30		
9/20 (日)	つどい	朝食	自然体験活動の特質		昼食	自然体験活動の技術 (野外炊事による夕食兼)			休憩	自然体験活動 の指導	休憩
7:15 7:30 9:00			1200 1300 13:30 14:00 14:30 15:00								
9/21 (月)	つどい	朝食	自然体験活動の安全管理		昼食	まとめ	認定 試験	諸 連絡	閉 講 式		

★プログラム紹介★



講義「青少年教育における体験活動」

青少年期における体験活動によって培われる自立的行動習慣、自己肯定感、道徳観・正義感ついて、調査データと北海道の子供たちの現状を照らし合わせ、体験活動の必要性について理解を深めた。



講義・演習「対象者理解」

事業を行う上で、対象とする年代等によって、身体的・肉体的・精神的な差があること、また理解度にも一般的、個別的な違いがあることなど、ワークを通して学び、対象へ配慮について理解を深めた。



講義・実技「自然体験活動の特質」

交流の家周辺で自然体験活動を行い、地域の特色を理解することや活動を行う際の意義と課題について考えた。



講義・実技「自然体験活動の技術」

自然体験活動を行う上での必要最低限の技術について学んだ。その後、学んだ技術を使って野営場の設営・整備と野外炊事を行った。最後に指導の留意点を整理して理解を深めた。



講義「自然体験活動の指導」

自然体験活動の特質や技術、対象者理解等を学んだ後に、自然体験活動指導者としての基本的な心構えについてワークを通して理解を深めた。



講義・実技「自然体験活動の安全管理」

活動時のリスクについて、グループに分かれ、具体的な危険予知トレーニングを通して学習した。また、救急法についても学び、対処法についても理解を深めた。

企画・運営のポイント

交流の家の自然環境を最大限に生かした体験活動プログラムを設定し展開した。その中で、体験活動の意義や必要性に重点を置き、自然体験活動において指導者をめざす参加者に、より実践的なプログラムを提供した。

事業を終えて(成果と課題)

青少年教育施設を活用した体験活動の特色を参加者に再認識してもらうことができた。

自然体験活動指導者（NEAL リーダー）については、まだ知名度が低いことと、今後の展望に関してはまだ不明確なところもあるので、より具体的な見通しを持つことが必要だった。

また、今後の活躍の場の提供として「演習Ⅰ」の開講を含めたフォローアップ体制を整える必要がある。

今後の方向性

次年度以降は、自然体験活動上級指導者（NEAL インストラクター）講習の開講及びその受講資格となる「演習Ⅰ」を展開できる事業を設定し、早急に周知をする。

他の類似資格を得る講習が日程的に重ならないように調整する。